山形県鶴岡市

高付加価値の医療機械分野に進出 地元採用・企業連携等で地域経済にも貢献

大手メーカー向け産業用機械、自社開発医療機械の設計・開発・製造を一貫対応す る総合エンジニアリング会社。機械加工、溶接加工、焼付粉体塗装、電気計装、組立 工程などにおいて高い技術を持つ。長年にわたる産業用装置の製造で培った技術やノ ウハウを活用し、医療機械「高周波がん治療機器」を自社開発。国内医療施設への納 品実績を積み重ね、顧客からの高い評価が広がることで、現在では海外からの引合い も受けている。

●所在地	山形県鶴岡市下清水字内田元72-40
●電話/FAX	0235-24-7922/0235-24-3327
•URL	http://www.s-create.jp
●代表者	代表取締役会長 小田 治一

●設立	1977年
●資本金	4,360万円
●従業員数	80人



同社の装置が大手メーカーの海外展開事業に貢献

同社は国内大手メーカー向けに特殊産業用装置を製造しており、自動車産 業や各種素材産業における海外事業拡大に貢献している。また、同社の技術 力を活かした高周波式がん治療機器 「アスクーフ8」 を自社開発。 国内の病院 への納入実績が拡大するなか、アジア各国など海外の引合いも受けており、 海外展開に向けた事業化検討に取組んでいる。今後は、医療機器械の分野 でも成長が期待される。



高周波がん治療機器「アスクーフ8」

鶴岡の地域資源「精密金属加工製品」を牽引し地域経済に貢献

地域の雇用を活用し、各種の特殊産業用機械装置の開発および製造を同社 で一貫対応。地元の新卒採用を定期的に行っており、モノづくり技術の次世 代への承継に注力している。教育体制の整備や技能資格取得への支援などに より人材育成に取組んでいる。また、同社の受注拡大に伴い、メッキや部品 加工を担う地元企業との生産体制を構築し、地域経済活性化や雇用維持に貢 献している。メディカル事業においては山形大学医学部・工学部や慶応義塾大 学先端生命科学研究所、鶴岡国立高専等と連携し研究開発を進めている。



地元採用で地域の雇用に貢献

付加価値の高いメディカル事業の拡大

産業用機械装置の受注製造と比べ、自社開発した医療機器「高周波式がん 治療機器アスクーフ8」の付加価値は高い。当該医療機器については、病院 等の医療施設への納入実績が拡大中であり、筑波大学医学部等と提携して、 臨床データを取得・活用し、機械の開発・改善・改良にも取組んでいる。医 療機器の分野では、現在普及している様々な装置においても医療機器開発手 順に沿った新規開発・改良の需要が強く、同社の製造技術の活用により、今 後も事業拡大および付加価値の更なる向上が期待される。



筑波大学医学部共同研究と市民講座